

記号
番号
第2期版

文部省検定済
教科適月

760
74
1

幼奉唱歌

二編五卷



すめらみくに
すめらみくにの
ものふは、
いかたろことをか
つとむべき。
たいみにもてる
まじろを、
きみとおやとに
つくすまで。

第九
一編

40980

教科書文庫

4
760
31-1903
01704
49261

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Inches
1 2 3 4 5 6 7 8
cm
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

明治三十六年七月廿二日
文部省檢定
尋常小學校唱歌科兒童用

中央圖書館

廣島大學
藏書印

教科
適中
幼
童
唱
歌

納所辨次郎
田村虎藏

共編

東京 銀座 十字屋發行

貳編
五卷

760類
74号
1

廣師(男)登録番號
第 0426号
14091

広島大学図書

0130449261



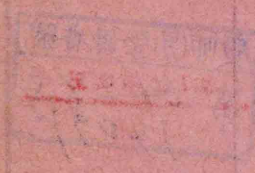


二日
 大正
 東京

蘇州
 趙率
 副
 魁

十字星發行

共
 關



有
 關



縣第
和歌
樂
部
冊
數

緒言

本書は、現今小學校の唱歌教授に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授に適切なる教材を供給せんが爲に編纂せるものなり。而して其教材は、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科書に充て得べきものとす。編纂の要旨、下の如し。

一、題目、尋常科には、専ら修身、讀書科に關係を有する事項、及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には、更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに力めたり。

二、歌詞、多年小學校教育に經驗を有する識者の手に成りて、兒

童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も詩的興味を失はざるものより、漸く進みては、古今名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、多年編者研究の結果に出で、能く其音程、音域の如何を審査し、兒童が心身發達の程度を精察し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情を育成せんことを期せり。

以上の外、詳細の用意、及び音楽上併に教授上の注意に至りては、毎卷これを記述せり。

明治三十四年六月三日

編者識す

教科 幼年唱歌 貳編上卷

凡例

一、本編は、尋常小學第二學年第一學期間に、教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數八個は、毎週二時間宛教授するものとして、の最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨選擇は教師の任意たるべし。

一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、此學年讀書科の程度に鑑みて之を記載し、出來得べき丈、大字を用ひたり。曲節は凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。

二、本編歌曲の強弱は、片假名の略號及び他の諸記號にて之を表はせり。即ち「*f*」は弱く、「*ff*」又は「*f*」は強く、「*mf*」は中等に、「*mp*」はこれより稍や強く、「*ff*」又は「*ff*」は次第に強く、「*mf*」又は「*mf*」は次第に弱く、其數部分を謠ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

教授上一般の注意

- 一、此學期にも、先づ氣息呼吸法を行ふべし。其方法は初編下巻に同じ。是れ唱歌するに先ちて肺臟の運動を自在ならしむるものなれば、室内の空氣清淨なる日には、必ず之を行はん事を要す。呼吸法は、外國に於て専ら之を行ふものなるが、予は多年實驗に徴して、其効果の尠少ならざるを認めたるものなり。
- 二、次に發音の練習に移る。其方法第一學年に準じ、専ら五個の母音を種々に配合し、之を長音階の各階段に附して練習するなり。但し此際「7」及び「4」の二音は、之を省くも可とす。音聲の使用方法及び、口授法によりて教授する順序方法は、初編中巻に同じ。而して呼吸法及び發音練習の二個練習は、教授時間の四分の一を超過せざる様注意すべし。
- 三、此他時々口形練習をも交へて、五母音の發聲を正確ならしむべし。且つ兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんは、意外の興味を添ふるものなれば、教授者は該編中に挿入したる圖案を參考して、豫め一定の畫面を用意し、教授の際常に之を使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり。故に歌曲の速度は概して急速なるを可とす。而して本編収むる所の八曲は、何れも之を遊戯の際に適用し得べく、尙ほ「大江山」「松山鏡」「兎と龜」は此學年に適したる修身訓話。「池に金魚」「蜻蛉」「鷺」等には理科思想を誦ひ、其他皆讀書科の材料に關係あるものなれば、他の諸教科に於て、又は教授者相當の問答講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科適用 幼年唱歌 貳編上卷

目次

春の野……………作曲者 田村 虎藏……………七	蝶々……………作曲者 納所辨次郎……………九	大江山……………作曲者 田村 虎藏……………十一	池に金魚……………作曲者 未詳(西洋曲)……………十三	兎と龜……………作曲者 納所辨次郎……………十五	鷺……………作曲者 田村 虎藏……………十七	蜻蛉……………作曲者 多 梅 稚……………十九	松山鏡……………作曲者 納所辨次郎……………廿一
-------------------------	------------------------	--------------------------	-----------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------	--------------------------



は
る
の
の

一、 ましろにみえし、ゆききえて、
 のは、おもしろく、なりけり。
 草も、はえ、木も、めばり、
 ひばりなき、ちよーもとぶ。
 ふくとみえぬ、春かぜを、
 なびく、やなぎに、しるばかり。
 いつかと、まちし、花さきて、
 日も、あたゝかに、なりにけり。
 二、 とも、さそひ、かごさげて、
 すみれ、つみ、れんげとり、
 あそぶ、たのし、春の、のに、
 ながき、ひかげの、うつるまで。

七

春のの

作 歌 田 邊 友 三 郎

春の野

(ト調二拍子)

優美 =

作曲 田村虎藏



5 1 1 3 | 2. 1 6 | 5. 6 5 3 | 5. 0 | 6. 1 5 6 | 1 2 3 |
 1. マシロニ イエソ ユキキエ テ ノハオモ シロク
 2. イツカト マチソ ハナサキ = ヒモアタ タカニ



2. 2 2 3 2 | 1. 0 | 2. 3 1 3 | 5. 0 | 4 3 2. 1 | 2. 0 |
 ナリニケーリ クサモハ エ キモメバリ
 ナリニケーリ トモサソ ヒ カゴサゲテ

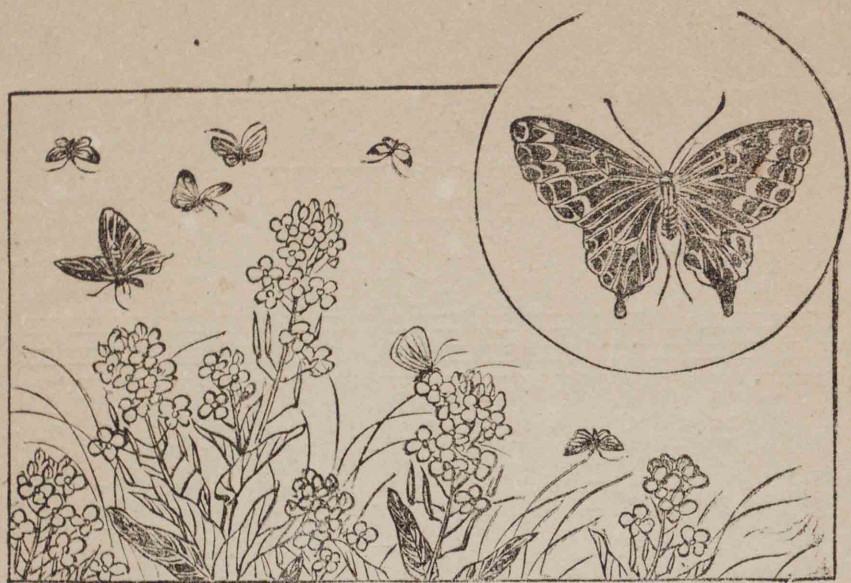


3 5 3 2 | 1. 0 | 2. 3 2 1 | 6. 0 | 5. 6 5 3 | 5. 5 6 |
 ヒバリナキ チョーモト プ フクトモ ミニヌ
 スミレツ ミ レンゲトリ アソアモ タノシ



1 3 2. 1 | 2. 0 | 3 5 5 | 3. 2 1 3 | 2. 2 2 3 2 | 1. 0 ||
 ハルカヒ ナ ナヒク ヤナギニ シルバカーリ
 ハルノノ ニ ナガキ ヒカゲノ リツルマーデ

六



ちよーちよ

一、うめがちるのか、 さくらの花か、
 白いちよーちよが、 ひらくまふよ。

二、山ぶきちるのか、 なたねの花か、
 きいろのちよーちよが、 ひらくまふよ。

三、かぜは、そよふく、
 花とちよーちよが、 おにことするよ。

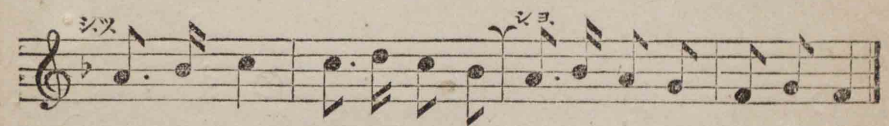
蝶々

(~調二拍子)

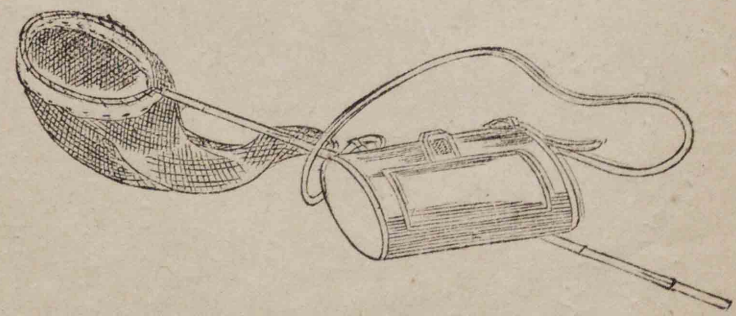
優美ニ 作曲 納所辨次郎



	1.	2	3	3	3.	4	3	2	3.	4	3	2	1.	2	3
1.	ウ	ー	メ	ガ	チ	ル	ノ	カ	サ	ク	ラ	ノ	ハ	ナ	カ
2.	ヤ	マ	ア	キ	チ	ル	ノ	カ	ナ	タ	ネ	ノ	ハ	ナ	カ
3.	カ	ー	ゼ	ハ	ソ	ヨ	フ	ク	ソ	ヨ	フ	ク	カ	ゼ	ニ



	3.	4	5	5.	6	5	4	3.	4	3	2	1	2	1
シ	ロ	イ	チ	ー	チ	ガ	ヒ	ラ	ヒ	ラ	マ	フ	ヨ	
キ	イ	ロ	チ	ー	チ	ガ	ヒ	ラ	ヒ	ラ	マ	フ	ヨ	
ハ	ナ	ト	チ	ー	チ	ガ	オ	ニ	ゴ	ト	ス	ル	ヨ	



大 江 山

(に調二拍子)

活 潑 = [軍 歌 体]

作曲 田村虎藏

1.	1	3.	3	5.	5	5.	5	6.	6	6.	6	5.	0			
1.	2.	3.	4.	ム	カ	シ	ー	タ	ン	バ	ノ	オ	ホ	エ	ヤ	マ
				ダ	ン	シ	ノ	ダ	シ	シ	ノ	ラ	イ	コ	ー	ハ
				ナ	イ	イ	ハ	ナ	カ	カ	キ	シ	テ	ン	ノ	バ
				ヤ	ダ	エ	ノ	ヤ	ニ	ニ	ー	キ	レ	ミ	レ	ー

5.	3	5.	5	3.	2	1.	1	6.	1	2.	3	1.	0
オ	ニ	ド	モ	オ	ホ	ク	ー	コ	モ	リ	井	テ	
ト	キ	ノ	ー	ミ	カ	ド	ニ	ミ	コ	ト	ノ	リ	
ヤ	マ	ア	シ	ス	ガ	タ	ガ	カ	ナ	ヤ	ツ	シ	
シ	テ	ン	ー	ド	ー	タ	ニ	カ	シ	ラ	ニ	テ	

1.	1	1.	1	6.	6	6.	6	5.	5	5.	6	5.	0
ミ	ヤ	コ	ニ	テ	テ	ハ	ー	ヒ	ト	チ	ク	ヒ	
オ	ウ	ケ	ー	マ	ウ	シ	ニ	オ	ニ	タ	イ	ジ	
ク	ハ	シ	キ	ヤ	マ	ヤ	ニ	フ	カ	タ	タ	ニ	
ア	ラ	オ	ニ	マ	カ	オ	ニ	ア	ツ	キ	タ	ジ	

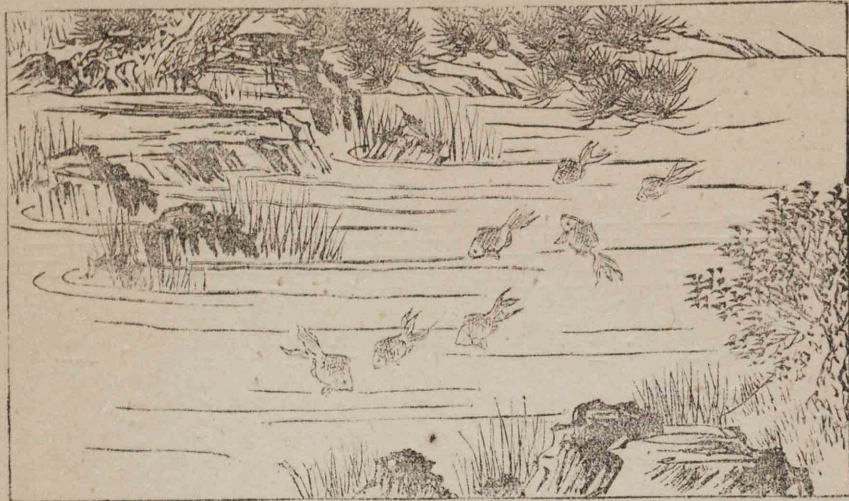
3.	3	5.	5	3.	2	1.	1	6.	1	2.	3	1.	0
カ	示	ヤ	ー	タ	カ	ウ	チ	ヌ	ス	ミ	エ	ク	
イ	キ	ホ	ヒ	ヨ	ク	モ	ー	デ	カ	ケ	タ	リ	
ミ	チ	ナ	キ	ミ	ク	ナ	ノ	キ	リ	ヒ	ラ	キ	
マ	ヘ	目	ー	ワ	ク	ヘ	ノ	オ	ホ	サ	ア	キ	

おほえやま

作歌 石原和三郎

一、むかし、たんばの、おほえやま、
おにどもおほく、こもりおて、
みやこにては、人をくひ、
かねやたからを、ぬすみゆく。
二、げんじのたいし、らいこーは、
ときのみかどの、みことのり、
おうけまうして、おにたいじ、
いきほひよくも、でかけたり。
三、けらいは、なだかき、
山ぶしすがたに、みをやつし、
けはしき山や、ふかき谷、
みちなきみちを、きりひらき。

四、おほえの山に、きてみれば、
しめてんどーじが、かしらにて、
あをおに、あかおに、あつまつて、
まへようたへの、大さわぎ。
五、かねてよーいの、どくのさけ、
すゝめておにを、よひつぶし、
おひのなかより、とりいだす、
よろひかぶとに、みをかため。
六、おどろきまどふ、おにどもを、
ひとり、のこさず、きりころし、
しめてんどーじの、くびをとり、
めてたくみやこに、かへりけり。



いけにきんぎょ

いけにきんぎょ

作歌 田邊友三郎

一にはの、中に、おいけをほりて
 五つ、七つ、はなしたきんぎょ
 いたり、きたり、小じまのかげを
 みえて、かくれ、かくれてみえて
 おそくはやく、およいでまはる。
 二、いけのみづは、きれいにすみて、
 およぎあそぶ、われらのきんぎょ、
 はなれつ、あひつ、ひれふり、をふり、
 ひれと、をとは、てあしのかはり、
 みづを、かきて、ういてはしづむ。

池に金魚

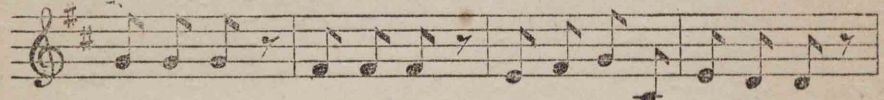
(=調二拍子)

快活 =
 夫

作曲 未詳



3 5 1 | 3 5 1 | 6 6 i 6 | 5 3 5 0 |
 1. ニ ハ ノ ナ カ ニ ガ イ ケ ナ ホ リ テ
 2. イ ケ ノ ミ ツ ム キ レ イ ニ ス ミ テ



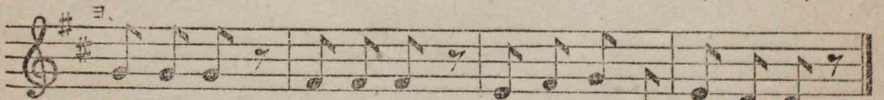
4 4 4 0 | 3 3 3 0 | 2 3 4 7 | 2 1 1 0 |
 イ ツ ツ ナ ナ ツ ハ ナ シ タ キ ニ ギ
 オ ヨ ギ ア ツ プ ヲ レ ラ ノ キ ン ギ
 ヌ



2 3 2 3 | 2 3 2 | 2 2 3 +4 | 5 5 5 |
 イ ツ タ リ キ タ リ コ シ マ ノ カ グ チ
 ハ ナ レ ツ ア ヒ ツ コ レ フ リ ナ フ チ



3 5 1 | 3 5 1 | 6 6 i 6 | 5 3 5 0 |
 ミ エ テ カ ク レ カ ク レ テ ミ エ テ
 ヒ エ ト ナ ト ハ テ ア シ ノ カ ハ リ



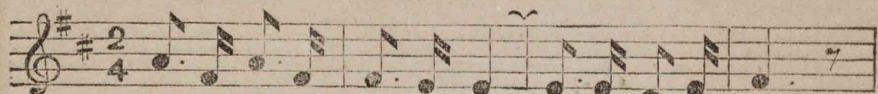
4 4 4 0 | 3 3 3 0 | 2 3 4 7 | 2 1 1 0 ||
 オ ソ ク ハ ヤ ク オ ヨ イ ア マ ハ ル
 ミ ツ チ カ キ テ ウ イ テ ハ ヌ ム

鬼 と 龜

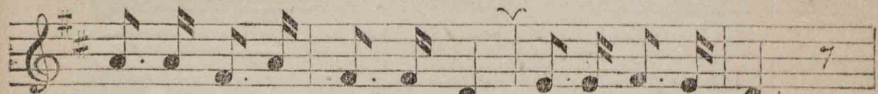
(ニ 調 二 拍子)

爽快 =

作曲 納所辨次郎



5. 3. 5. 3. | 3. 2. 2. | 2. 2. 1. 2. | 3. 0. |
 1. 2. 3. 4. |
 モナドコ シンレ モンナハ シトニネ カオカス メシメギ ヨルカダ カウイシ メサソク サギイツ ンサアツ ヨンモタ



5. 5. 3. 5. | 3. 3. 1. | 2. 2. 3. 2. | 1. 0. |
 セソドピ カンワン イナセヨ ノラオン ウオパビ チマンン ニトマビ オカカビ マケカン ヘクルビ ホラダン ドベコビ



5. 5. 5. 5. | 5. 6. 6. | 1. 1. 1. 6. | 5. 0. |
 アムコア ニカコン ミツラマ ノノテリ ノコチガ ロヤツツ イマトヒ モフヒツ ハトネギ ナママサ イテリン



6. 6. 1. 1. | 5. 5. 3. 3. | 2. 2. 3. 2. | 1. 0. |
 ドドグサ ウチーツ シラダキ テガノ ソサダシ ソンキーマ ナニガン ニーハ ノカグド ロケウ ヲツグシ ノグーダ カカグノ

うさぎとかめ

作歌 石原和三郎

一、もしもしかめよ、かめさんよ、
 せかいのうちに、おまへほど、
 あゆみの、のりい、ものはない、
 どうして、そんなに、のりいのか。
 二、なんと、おっしゃる、うさぎさん、
 そんなら、おまへと、
 かけくらべ、
 むかうの小山の、
 ふもとまで、
 どちらが、さきに、
 かけつくか。



うさぎとかめ

三、どんなにかめが、
 いそいでも、
 どうせ、ばんまで、
 かるだる、
 こころで、ちよつと「ねむり、」
 グー~~~~、グー~~~~。



四、「これはねすぎたしくじった、」
 ピョン~~~~、ピョン~~~~、
 「あんまりおそい、うさぎさん、
 さきのどまんは、どうしたの。」



わし

わし 作歌・石原和三郎

一 すごいまなこは 千(せん)りをにらみ
 つよいつばさは 万(ばん)りをかける
 とりの王(おう)。さりの王(おう)。
 あの、あらわし。

二 とがるくちばし、とらをもころし、
 まがるつめでは、くぢらもつかも、
 とりの王(おう)。さりの王(おう)。
 あの、あらわし。

あの、あらわし。

七

鷲

(へ調二拍子)

勇壯 =

作曲 田村虎藏



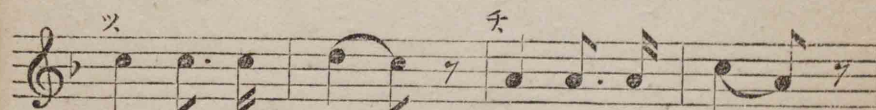
5 5. 5 | 1. 1 1 1 | 2. 3 2 1 | 6. 6. 6. 0

1. ス イ マ ナ コ ハ セ ン リ サ ニ ラ ミ
 2. ト ガ ル ク チ バ シ ト ラ チ モ コ ロ シ



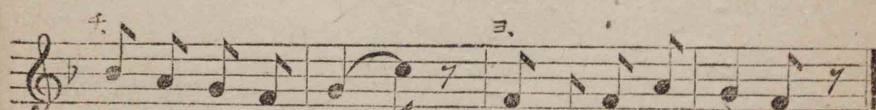
1 1. 1 | 5. 5 1 3 | 2. 2 2 2 | 3 2 1 0

ツ ヨ イ ツ バ サ ハ バ ン リ チ カ ケ ル
 マ ガ ル ツ メ テ ハ ク ジ ラ モ ツ カ ム



5 5. 5 | 6. 5 0 | 3 3. 3 | 5 3 0

ト リ ノ オ - ト リ ノ オ -
 ト リ ノ オ - ト リ ノ オ -

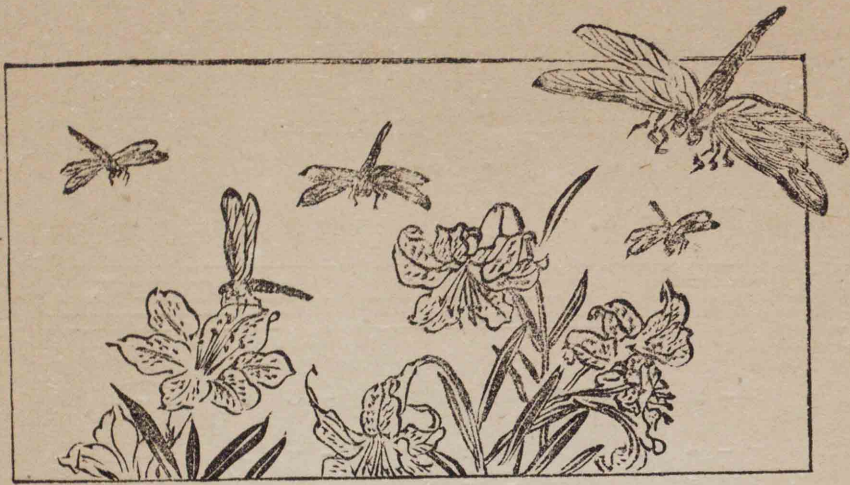


4 3 2 1 | 2 5 0 | 1 5 1 3 | 2 1 0

ア ノ ア ラ ヲ シ ア ノ ア ラ ヲ シ
 ア ノ ア ラ ヲ シ ア ノ ア ラ ヲ シ

十六

とんぼ



とんぼ 作歌 田邊友三郎

一、とんぼ、とんぼ、とべよやとんぼ。
 とんぼのすむのを、みわたせば、
 そらひろくと、はてもなし、
 きれいなはねで、かぜをばきりて、
 ゆくべき方を、たしかにきめて、
 とべよやとんぼ、どこまでも。
 二、とんぼ、とんぼ、とまれよとんぼ。
 とんぼのすむのを、みわたせば、
 草あをくと、花あかし、
 四つのはねを、しづかにやすめ、
 六つの足を、一つにそろへ、
 とまれよとんぼ、花の上。

蜻蛉

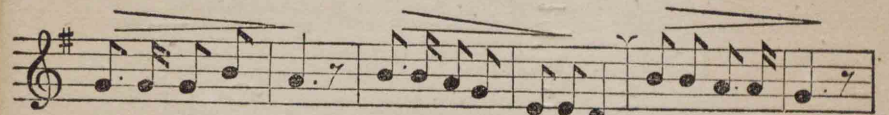
(ト調二拍子)

愉快ニ、稍速ニ 作曲 多梅稚

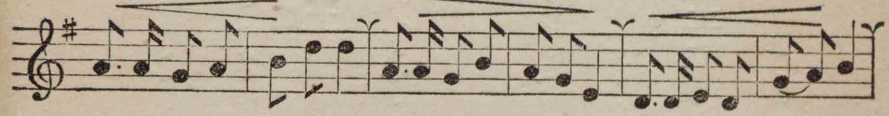


又は、調

1. トンボ トンボ トベヨヤ トンボ トンボノスマノチ
 2. トンボ トンボ トマーレヨ トンボ トンボノスマノチ



1. 1 1 3 | 2. 0 | 3. 3 2 1 | 6. 6 5 | 3 3 2. 2 | 1. 0 |
 ミヲタセバ ソラヒロ ヒロト ハテモナシ
 ミヲタセバ クサアチ アチト ハナアカシ



2. 2 1 2 | 3 5 5 | 2. 2 1 3 | 2 1 6 | 5. 5 6 5 | 1 2 3 |
 キレイナ ハネデ カゼチバ キリテ ムクベキホーチ
 ヨツツノ ハネチ シヅカニ ヤスメ ムツツノ アシチ



3. 4 3 2 | 1 2 1 | 5 6 5 3 1 | 2. 3 2 0 | 5. 5 6 5 | 1. 0 ||
 シカニ キメテ トベヨヤ トンボ ドコマデモ
 ヒトツニ ソロヘ トマーレヨ トンボ ハナノカヘ

まつやまがみ



一、まへの母にも、
 われは一つに、
 なにゆゑいまの、
 かあいがられぬ、
 かたみのかがみ、
 むかへばうつる、
 こひしきまへの、
 ものいはれぬは、
 かくれてみしより、
 くもはひとたび、
 まことの心に、
 まつ山かがみ、

二、
 とりいだし、
 おもかびは、
 はうへか、
 なにゆゑぞ、
 うたがひの、
 かりしも、
 はれわたる、
 子のかがみ。

二十一

まつやま
 松山かがみ 作歌 田邊友三郎

松山鏡

(ハ調二拍子)

作曲 納所辨次郎
 余リ遅クナシ

チ

4/4

3-2 3 | 5 5 4 3 | 6-5 4 | 3-2 0 |

1. マーヘノ ハハニモ イーマノ ニーモ
 2. カタミノ カーミ トーリイ ダーシ
 3. カクレテ ミシヨリ ウーダガ ヒーノ

チ

4/4

1-2 3 | 5 5 4 3 | 2 2 3 2 | 1- 0 |

アーレハ ヒトツニ ツカフル ナ
 △カヘバ ウーツル オモカゲ ハ
 グーモハ ヒトタビ カタリシ モ

シツ

4/4

5 5 6 7 | i-7 6 | 6 6 5 +4 | 5- 0 |

ナニユエ イーマノ ハハウヘ ニ
 コロキ マーヘノ ハハウヘ カ
 マコトノ ココロニ ハレタ ル

チ

4/4

3-2 3 | 5 5 4 3 | 2 2 3 2 | 1- 0 |

カーブイ ガラレヌ フレナル ヲ
 モノイハ レーヌハ ナニユエ ヲ
 マツナマ カーガ コノカガ ミ

二十

明治三十五年六月廿八日印刷
 明治三十五年七月十一日訂正再版
 明治三十五年七月十三日訂正再版
 明治三十六年八月二十日發行



(譯譜及贍寫ヲ許サズ)

編者

東京市麴町區下二番町六十二番地

納所 辨次郎

同 市牛込區白銀町三十五番地

田村 虎藏

同 市京橋區銀座三丁目二番地

倉田 繁太郎

同 市京橋區銀座三丁目二番地

十字 屋

同 市神田區猿樂町一丁目五番地

積山 之和

同 市京橋區元數寄屋町四丁目二番地

福岡商店印刷部

正價金拾錢

(東京木挽町二 原田寫眞銅版印刷所)

広島大学図書

0130449261

